

強みを生かして収益力ある農業の確立

～知ってみると面白い！？埼玉県産農産物の「今」～



1 埼玉県の概要



【主要指標】

- ◆ 県土面積に占める河川の割合 = 3.9%で**全国第2位**
- ◆ 人口 = 全国の5.9%を占め**全国第5位**
- ◆ 平均年齢 = **全国で7番目に若い**
- ◆ 内陸性の太平洋側気候、温暖で自然災害が少ない
- ◆ 県土面積に占める耕地の割合 = 19.4%で**全国第4位**

県域	東西108km 南北70km
県土面積 (R4.1.1)	3,798km ²
総人口 (R4.4.1)	7,331,256人
総世帯数 (R4.4.1)	3,213,644世帯
平均年齢 (R2.10.1)	46.8歳
気象 (熊谷气象台平年値)	平均気温15.4℃ 年降水量1,305.8mm
耕地率 (R3)	19.4%

埼玉県の概要



名称は中区分、それ以外は小区分
山地 丘陵 台地 低地

(「埼玉県の地形区分と名称図」1975 村本達郎氏による)

2 埼玉農業の多様性



埼玉農業の多様性

埼玉県の県土面積 37万98百ha
 耕地 7万35百ha

全国の 1.0%
 全国の 1.7% 県土の19.4%

県北部



花植木 ねぎ 乳牛

県東部



米麦二毛作 きゅうり 梨

秩父



きゅうり かぼす



観光農業 (いちご)



県東部等



ホンモロコ

秩父・県西部



木材 きのこと

県西部



茶 さといも ほうれんそう

県南中央部



こまつな トマト 花植木

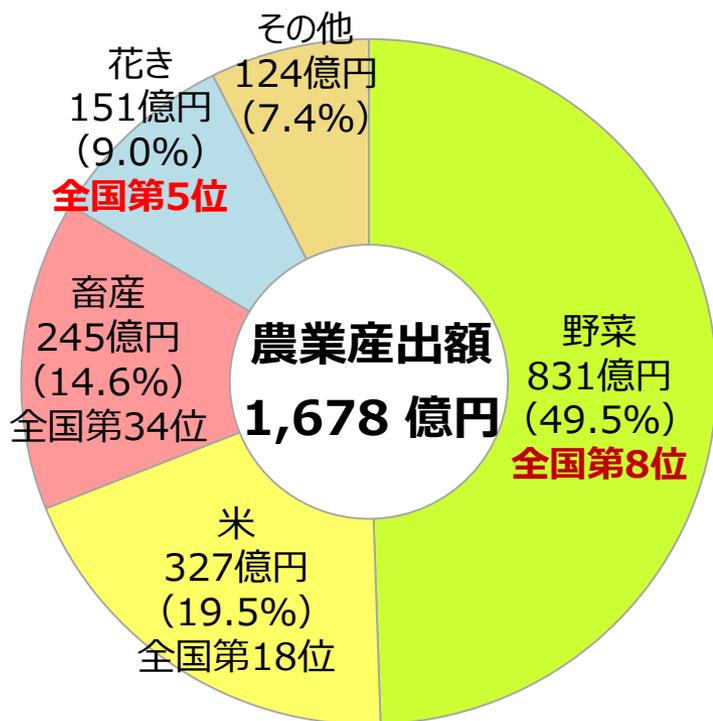


3 埼玉農業の特徴

埼玉農業の実力

令和2年の農業産出額は全国20位で、花きの産出額は全国**5**位、野菜の産出額は全国**8**位

令和2年の農業産出額の概要



全国 1 位



さといも
47億円



ねぎ
188億円



パンジー
5億円

全国 2 位



かぶ
14億円



こまつな
36億円



ほうれんそう
79億円



チューリップ
(切り花)
4億円

全国 3 位



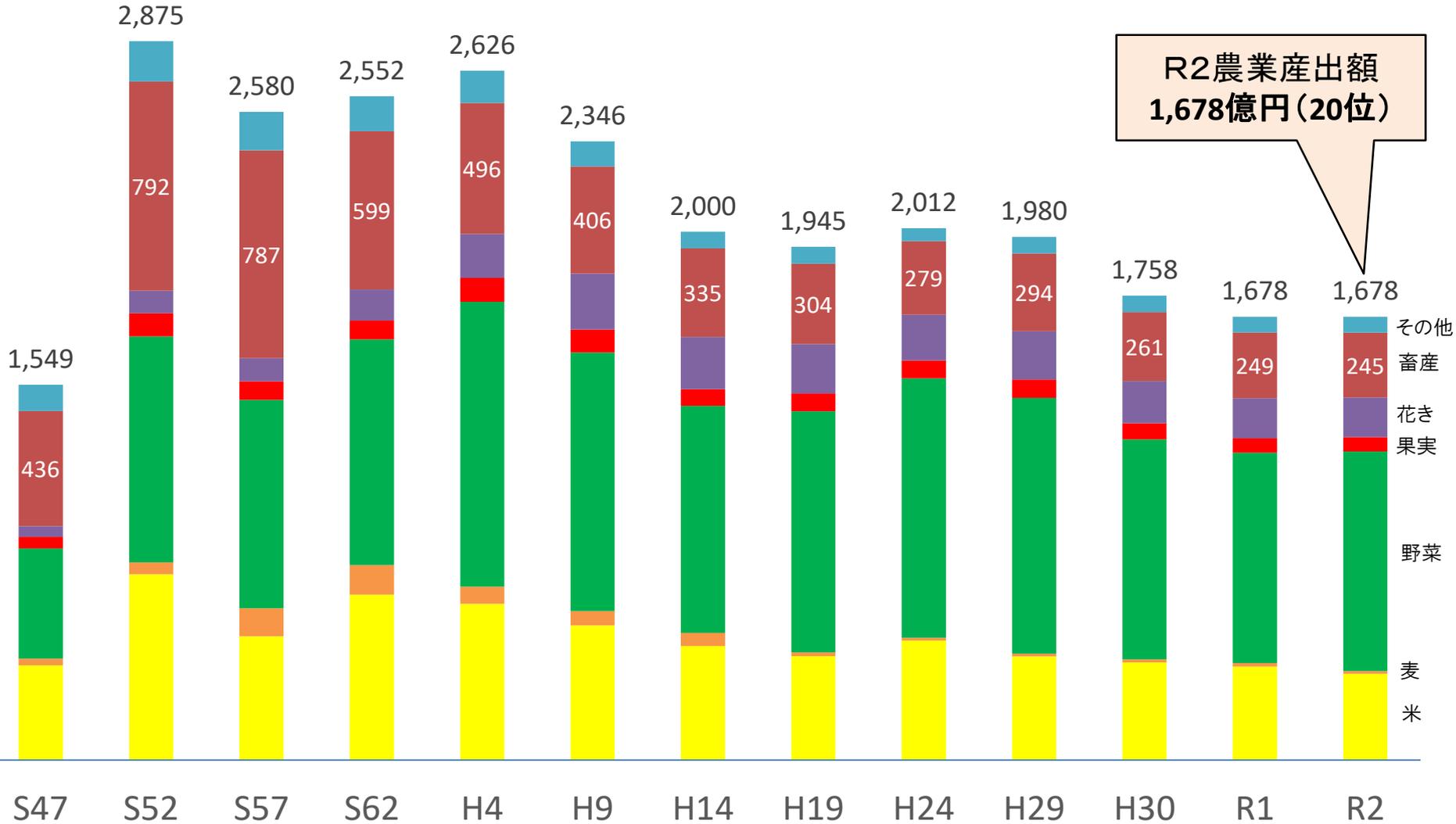
ゆり (切り花)
22億円



洋ラン(鉢)
35億円

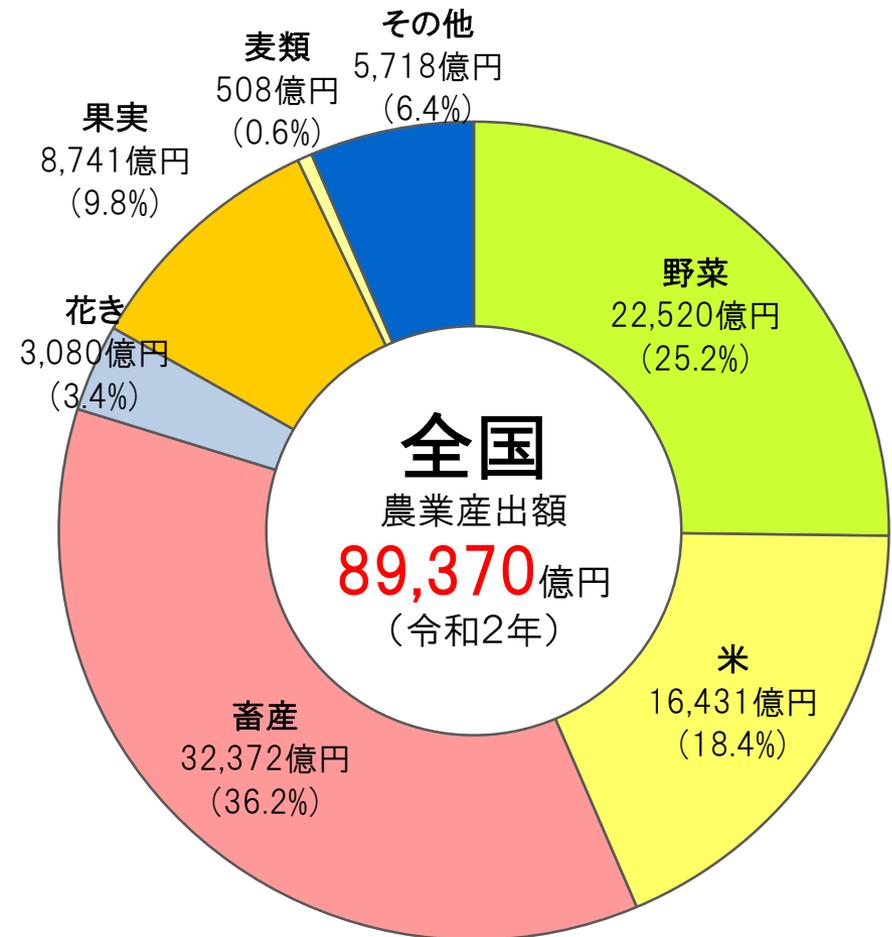
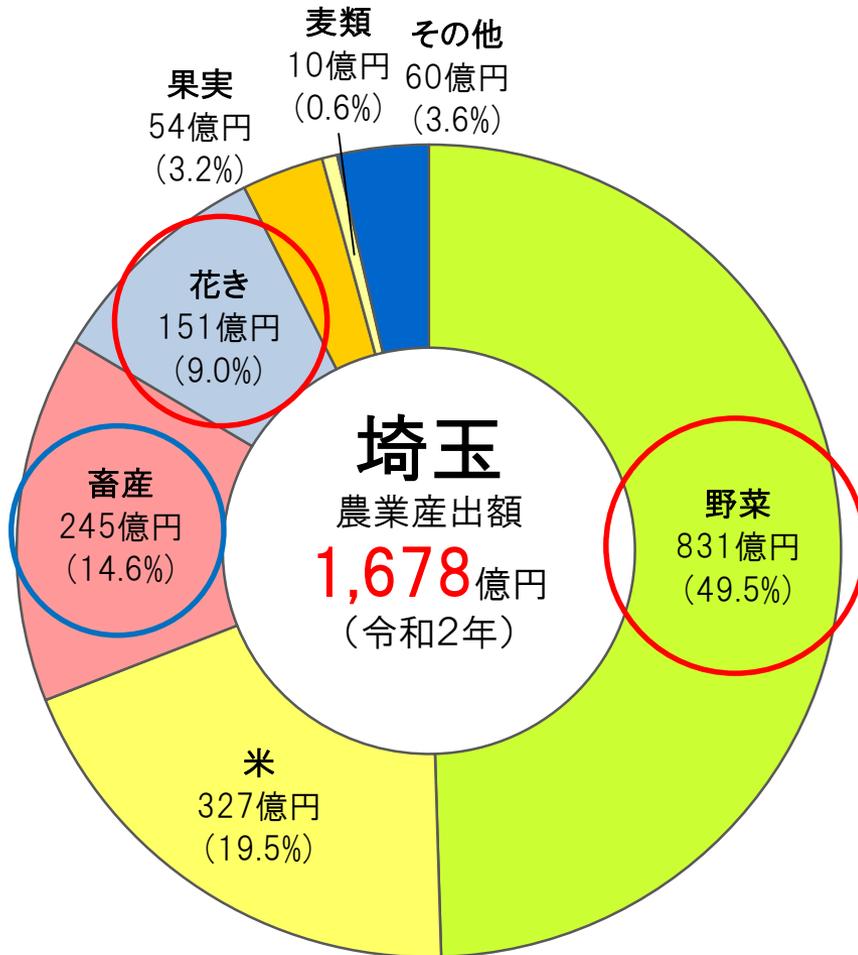
県農業産出額の推移

農業産出額ピーク(S52)
2,875億円(14位)



農業産出額の構成割合の比較 ～全国と埼玉～

農業産出額の部門別構成割合



注) ()の%が100にならないのは、四捨五入による。

埼玉農業の強み・・・地の利

埼玉 という場所

首都・東京に隣接する埼玉。災害が少ないという恵まれた環境のもと、住みよい暮らし、活発な経済活動が行われています。

経済

平成30年度の県内総生産は23兆2,541億円で全国5位。シェアで4.1%となっています。

※西武百貨(平成30年度)県内経済貢献

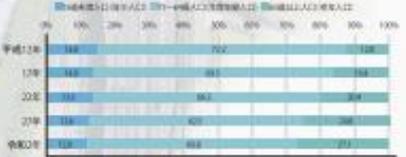
人口

約734万人が暮らし、人口増加率は全国4位。生産年齢人口の割合は60.8%で全国4位*となっています。

埼玉県の人口及び人口増加率の推移



年齢3区分別人口の割合の推移



※令和2年国勢調査人口年齢別集計結果

充実の鉄道網

県内の鉄道駅数は228駅。東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、東京地下鉄(株)、秋葉鉄道(株)、埼玉高速鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)の8事業者、24路線があります。



充実の道路網

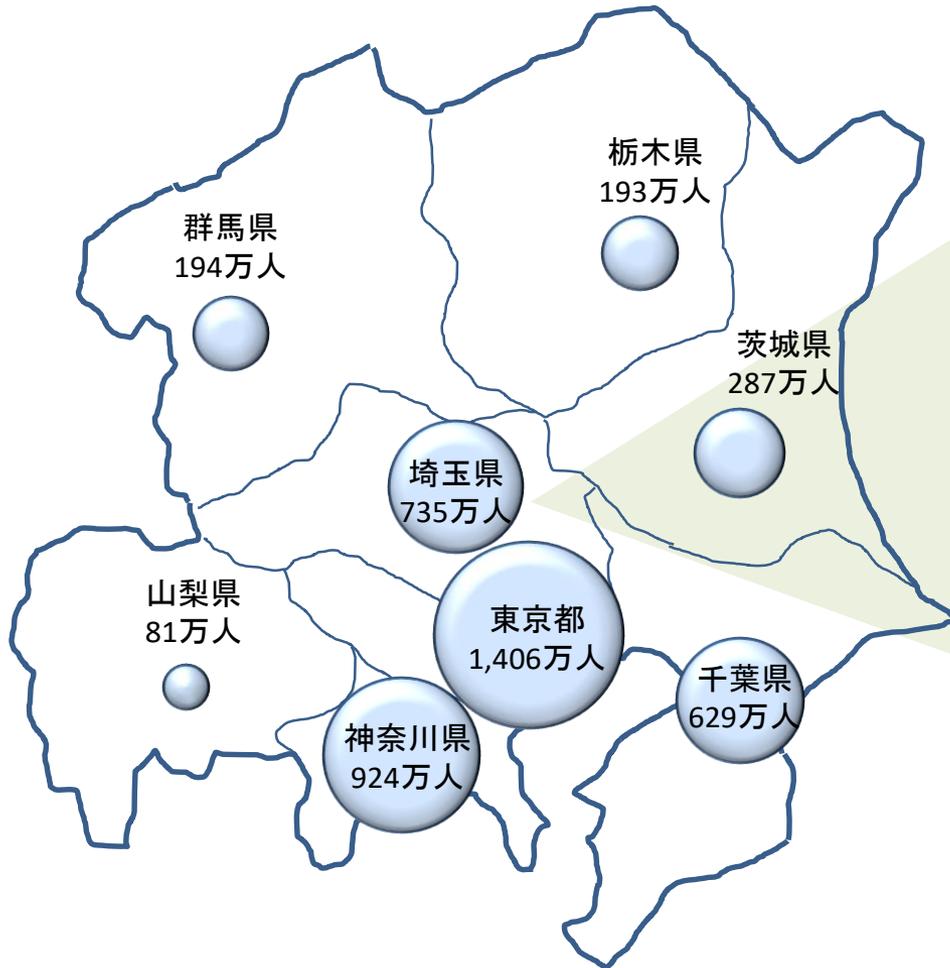
圏央道、外環道、関越道、東北道、常磐道、首都高の充実した高速道路ネットワークがある埼玉県は、交通の要衝として地位性が大きく向上しています。



産地と消費地の近さ

○県民735万人をはじめ約4,449万人の人口を擁する首都圏に位置

⇒ 大消費地の中に産地がある

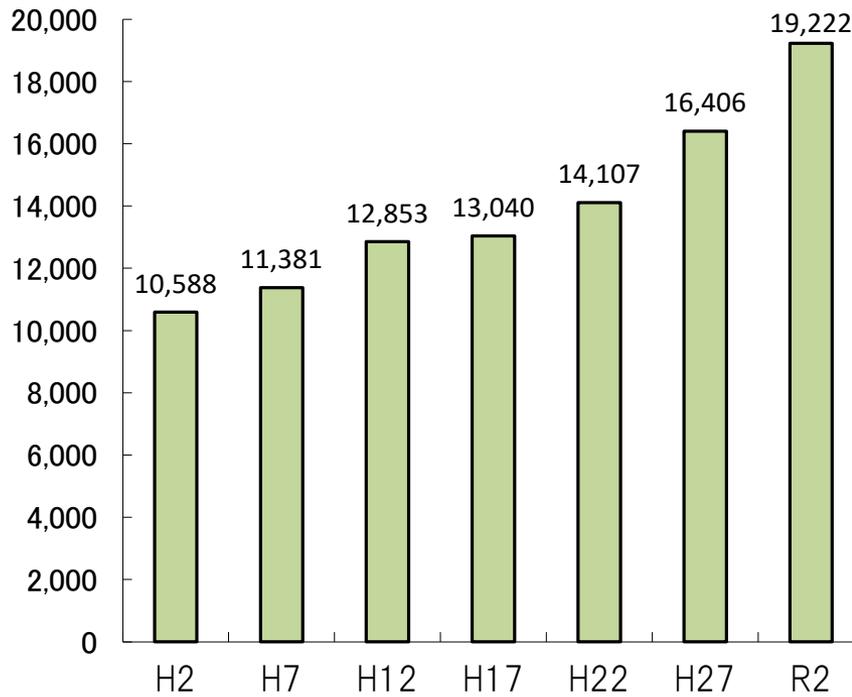


加工業務用農産物の需要

○食料品製造企業等が多く立地

⇒ 加工業務用農産物の需要がある

食料品製造出荷額 全国 2 位



出典：経済産業省「工業統計表(品目編)」
H27のみ経済産業省「経済センサス」

食料品製造出荷額の推移(埼玉県)



4 埼玉農業の方向性・取組



農林水産業・農山村を 巡る潮流

- 1 人口減少と高齢化
- 2 デジタル技術の発展と農林水産分野での活用
- 3 田園回帰志向の高まり
- 4 SDGsへの関心の高まり
- 5 経済の国際化の進展
- 6 海外からの食料供給に係る懸念
- 7 木材需要の拡大と人工林の伐期の到来
- 8 農林水産業を脅かすリスクの顕著化

1 農林漁業者の経営能力を生かした競争力の高い農林水産業の実現

農林漁業者が安定的な経営を行い、新規就業も進んでいます。若者、女性、企業等の多様な人材が活躍しています。



2 地域の特性に応じた、収益性が高く安定的な農林漁業経営に立脚する、持続性の高い農林水産業の実現

農地、森林その他生産基盤の整備の進展、先端技術の農林水産業への導入、自然災害等のリスクへの対応が進んでいます。



3 多面的機能が適切かつ十分に発揮される農林水産業及び農山村の実現

農山村が活性化するとともに、洪水防止、水源かん養、景観形成等の多面的機能が発揮されています。



4 需要に対応し、消費者に信頼される良質かつ安全な農林水産物を安定供給できる農林水産業の実現

県産農産物の生産力が確保され、首都圏はもとより、海外においても販売が広がっています。木を「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用が実現しています。観賞魚や食用魚の販売も広がっています。

農林漁業者の経営能力を生かした競争力の高い農林水産業の実現

新規就農者の確保・育成



技術研修



農地確保



農業経営の法人化

埼玉県農業経営相談所

農業経営の発展を図ろうとする
意欲ある農業者の方々の取組をサポートします。

埼玉県農業経営相談所では、農業者の皆様の経営課題を解決するため、**専門家等の支援チーム**を派遣し、さらなる経営発展を支援します。

例えば、こんな課題を抱えていませんか？

- 農業経営の法人化を目指したい…
- 施設園芸を導入して経営規模を拡大したい
- 6次産業化に取り組みたい
- 後継者に経営を引き継ぎたい
- 雇用労働力を活用したい…

相談無料



地域の特性に応じた、収益性が高く安定的な農林漁業経営に立脚する 持続性の高い農林水産業の実現

先端技術の農林水産業への導入



生育診断用カメラ付きドローン



自動水管理システム



統合環境制御装置に連動する冷房



省力樹形



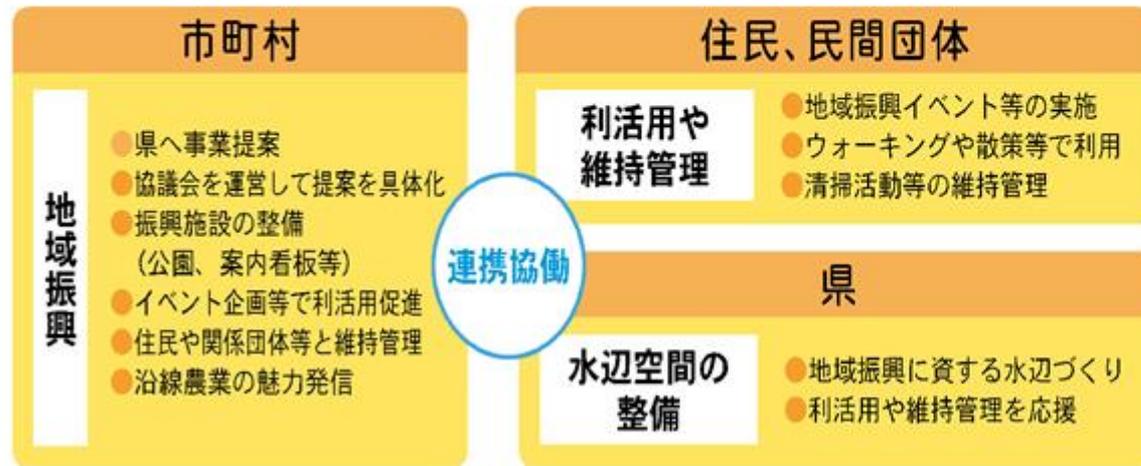
自動運転田植え機



無人農薬散布機

多面的機能発揮のための取組

農業生産のために維持されてきた身近な水辺を対象として、県などが水路や遊歩道の整備を実施します。さらに市町村や地域住民と連携し、整備した水辺空間を活用したイベントの実施や周辺マップ作成等を通じて、都市近郊農業の魅力を発信します。



整備イメージ(東京葛西用水)



整備前



整備後

需要に対応し、消費者に信頼される良質かつ安全な農林水産物を 安定供給できる農林水産業の実現①

安全な農産物の供給

GAP=Good Agricultural Practice

例：適切な肥料・農薬の管理



生産者がGAPを実践



県がGAP実践状況を確認

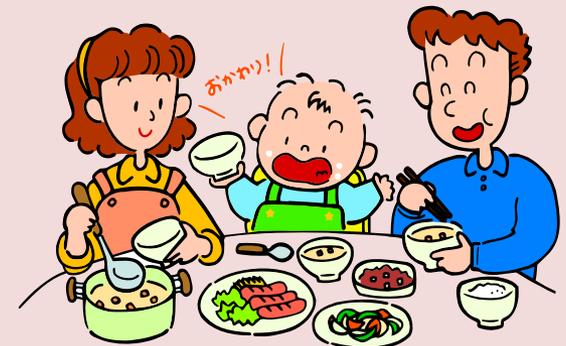


農場管理の
安全性 ↗



農場管理の
信頼性 ↗

農産物の安全性・信頼性向上



需要に対応し、消費者に信頼される良質かつ安全な農林水産物を 安定供給できる農林水産業の実現②

安全な農産物の供給

- ▶ 県産米競争力強化プロジェクトの推進



- ▶ 埼玉ブランド農産物の推進



行政事務

農業・農村振興施策の企画・立案、制度運用・許認可、予算編成作業及び事業の推進等を行っています。

普及指導

直接農業者に接して、生産方式の合理化、経営改善等の支援を行っています。

試験研究

最新の技術を活用した生産技術の開発、新品種の育成などの研究を行っています。

普及指導の仕事

1-1 協同農業普及事業の役割

- 協同農業普及事業は、農業の専門的技術・知識を有する**普及指導員**（国家資格を有する都道府県職員）が、**直接農業者に接して**、農業に関する**技術及び経営の指導**を核として、現場での農政課題解決を**総合的に支援**する役割を担う。



農業人材の確保・育成 産地の形成

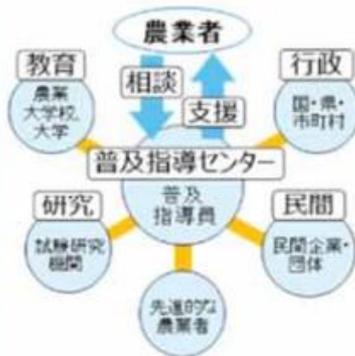
品質向上のための技術講習会

新規就農者への巡回指導



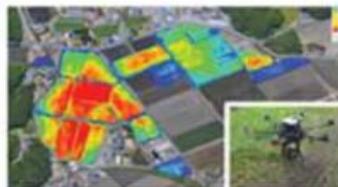
地域農業の コーディネート

教育機関、試験研究機関、民間、行政と連携を図りながら農業者への指導、相談を行います



新技術の現場定着

ドローンによるリモートセンシング



新品種の導入



その他の取り組み

- ・ 営農計画づくりの相談対応
- ・ 気候変動に対応した農業の推進
- ・ 鳥獣被害防止に向けた支援
- ・ 自然災害への備えや営農再開に向けた支援

ハウス環境モニタリング装置でデータを「見える化」



普及指導の仕事

埼玉県 の 普及 事業

現 状

普及職員数 (配置数)

埼玉県 **142人**
(令和3年4月)

全 国 **7,254人**
(令和3年4月)

本庄農林振興センター農業支援部

清流と豊かな土壌が育む農業

- ・特産物 (やまといも、なす)
- ・農家数 3,179戸
- ・普及職員数 12人

大里農林振興センター農業支援部

荒川と利根川の恵みを受けた
多彩な農業

- ・特産物 (ねぎ、ブロッコリー)
- ・農家数 4,799戸
- ・普及職員数 19人



加須農林振興センター農業支援部

県下を代表する主穀作農業

- ・特産物 (米、きゅうり)
- ・農家数 5,100戸
- ・普及職員数 14人

東松山農林振興センター農業支援部

山村丘陵の自然が育む多彩な農業

- ・特産物 (いちご、クジャクソウ)
- ・農家数 5,495戸
- ・普及職員数 11人

秩父農林振興センター農業支援部

豊かな自然と伝統文化が育む農業

- ・特産物 (いちご、きゅうり、ぶどう)
- ・農家数 2,885戸
- ・普及職員数 10人

春日部農林振興センター農業支援部

豊かな水と緑、ひとが育む多彩な農業

- ・特産物 (くわい、こまつな、なし、いちご)
- ・農家数 8,046戸
- ・普及職員数 21人

さいたま農林振興センター農業支援部

都市型直売農業

- ・特産物 (にんじん、植木)
- ・農家数 8,418戸
- ・普及職員数 18人

川越農 林振興センター農業支援部

若い力が支える循環型畑作農業

- ・特産物 (さといも、ほうれんそう、茶)
- ・農家数 8,541戸
- ・普及職員数 20人

農業技術研究センター農業革新支援担当

- 県全域
- ・普及職員数 17人

日本一の産地を守るサトイモ疫病対策の取組

川越農林振興センター農業支援部

活動対象 管内さといも生産者（約 400 人）、JA いるま野

1 背景とねらい

高収益をあげられる露地野菜として管内の主要な品目であるさといもは、選果場稼働に伴い、農業者の間で生産意欲が高まっている。

一方、全国のさといも産地で大きな被害をもたらしているサトイモ疫病が、令和元年度に管内で初めて確認され、大きな問題となっている。

そこで、防除対策の確立と産地全体での防除意識の醸成、防除の推進等の課題に取り組むこととした。



サトイモ疫病対策に関する研修会
(令和 2 年 1 月 15 日)

2 活動内容

(1) 先進地からの情報収集及び防除意識の醸成
サトイモ疫病に関する最新情報の収集と管内農業者や関係機関の本病に対する知識や危機・防除意識を向上させるため、宮崎県から講師を招き研修会を開催した。また、目揃い会や講習会においても農業者の理解と防除意識の向上を図った。



YouTube による種芋消毒方法紹介

(2) 防除対策の徹底

植付前から収穫までの防除対策資料を作成し、随時農業者へ防除指導を実施した。また、発病を早期発見し一斉周知できる体制を構築し、迅速な防除実施を促進した。さらに灌水方法や展着剤などに関する現地試験を実施し、結果を随時農業者へフィードバックした。

(3) 防除推進体制の構築

JA いるま野と連携して、さといもに関する課題に対し産地全体で長期にわたって取り組む推進体制の構築を図った。

3 活動の成果

(1) 農業者や関係機関の間でサトイモ疫病防除に対する意識統一が図られ、地域全体で防除対策を推進することができた。

(2) 農業者へ迅速かつ一斉に防除情報を提供したことで、農業者が適期に防除対策を実施している。

(3) 令和 3 年 1 月に発足したさといも振興研究会にメンバーとして参画し、農業者、JA、JA 全農さいたまとともに、地域一体となってサトイモ疫病に関する課題に取り組むこととなった。今後も地域の農業経営の安定化を図るため支援を行っている。

土壌の簡易分析による周年栽培こまつなの生産安定

春日部農林振興センター農業支援部

活動対象 三郷市園芸協会（37 人）、緑友会出荷組合（14 人）、三郷南地区農業技術研究塾（25 人）、八潮市青耕会（18 人）

1 背景とねらい

三郷市と八潮市の特産野菜であるこまつなでは毎年土壌診断が行われている。土壌診断の結果からは、塩基飽和度が 100% 以上のハウス土壌が多く見られ、発芽や生育不良が発生していた。その背景として、窒素施肥量を電気伝導率（EC）の数値で判断し、硝酸イオンの適切なコントロールができないことが推測された。

そこで、こまつな栽培土壌の実態を広範に把握し、塩類集積した土壌の改善を図り、持続可能なこまつなの栽培環境を確保することに取り組んだ。

2 活動内容

(1) こまつな栽培土壌の実態調査

土壌の深度別に化学性と貫入硬度計による物理性を 106 地点で調査した。EC は全体的に高い傾向にあり深層まで確保され、また深度 20~30cm には圧密層が多く確認された。中には、EC が高い一方、硝酸イオンが低い土壌も確認された。

(2) 調査ほの設置

これまでにこまつなほ場 10 ほ場を選定し、約 10 日ごとに土壌の硝酸イオンを調査した。また、継続的に調査を行い即時に結果が分かることから、生産者からは簡易に土壌の残存窒素量が把握できる手法として理解が進んだ。

(3) 簡易分析用試験紙を用いた測定手法の周知

研修会や個別巡回を通じて、多くの生産者が自ら硝酸イオンを測定できるよう、チラシ等で手法を啓発周知した。また、土壌診断結果の判断手法の解説や、地域全体の土壌改善をテーマとした土壌管理研修会を開催した。



土壌管理研修会

3 活動の成果

(1) こまつなは現地での調査により、硝酸イオンが 250ppm を超過すると、発芽や生育が不良となることが明らかになった。また、試験紙を利用した簡易な測定手法を広めることで、硝酸イオンに応じた施肥管理技術を普及することができた。

(2) これまでの活動の結果、生産者の土壌管理に関する知識が高まるとともに、施肥に関する意識改革を進めることができた。その結果、過剰な施肥が解消され、中には 2 作連続で施肥を見合わせる生産者も現れ、都市近郊の中で、環境にも配慮した持続可能な栽培を進めることができた。

なし産地の再生を目指して

東松山農林振興センター農業支援部

活動対象 東平梨組合新規就農者（1人、農業法人（社員3人））

1 背景とねらい

東松山市東平地区は、古くからのなし産地であるが、生産者の高齢化に伴い栽培面積が年々減少している。そこで、市農業公社は平成25年度に「農業塾梨コース」を開設し、なし産地の担い手確保を図ったところ、現在6人がなし園を借りて就農している。しかしながら、借りているなし園の老木化や栽培技術の不足などから、新規就農者の経営は安定しない場合もある。

このため、新規就農者の経営安定を目指して、栽培技術の向上や新植・改植などの経営規模拡大の支援を行った。

2 活動内容

- (1) 新規就農者の栽培面積拡大のため、栽培技術や棚設置のための制度資金活用などの支援を行った。
- (2) 老木化し萎縮病などの影響があるほ場を改植するため、苗木の購入のための補助事業などを活用して、改植に伴う品種選定等の支援を行った。
- (3) 特に問題となっているハダニ対策は、新規就農者1人のプロジェクト活動に位置付け、課題解決手法を含め、病害虫防除技術習得、天敵利用の防除技術確立の支援を行った。



新規就農者支援の様子

3 活動の成果

- (1) 就農当初50aから始めた新規就農者は、遊休農地30aになしを新植するなど、現在1.4haに経営規模を拡大した。
- (2) 新規就農者の管理するほ場のうち、6aが改植され、果樹園の更新ができた。今後も計画的に改植面積拡大が見込まれている。
- (3) プロジェクト活動や技術支援により栽培技術の向上が図られ、新規就農者の収量がそれぞれ2,200kg/10a（令和2年産）から2,500kg/10a（令和3年産）、900kg/10aから1,200kg/10aに向上した。



遊休農地に新植されたなし園

地域農業の発展を目指し集落営農組織を法人化

春日部農林振興センター農業支援部

法人名 農事組合法人^{（協）}們集落営農組合（代表者 森住光夫）

市町村 春日部市

1 経営概要

- (1) 設立年月日 令和3年3月3日
- (2) 経営規模 水稲12ha
- (3) 組合員数 29人
- (4) 主要資本装備
法人所有 パイプハウス（育苗用）2棟、
トラクタ1台、田植機1台



法人化に向けた相談会

2 経営の特徴

- (1) 地域の農業と農地を維持していくことを目的とした、既存の集落営農組織の構成員が設立した農事組合法人である。そのため、作業の委託先がない作業効率が悪い小規模な水田も分け隔てなく活用している。
- (2) 水稲の生産と、組合員の農作業受託を行っており、米は地元の業者に販売している。
- (3) 現在、組合員所有のコンバインや乾燥機等を活用しているが、今後、法人として機械・施設を整備し、一層の効率化を目指す。
- (4) 今後、農地中間管理事業を活用しながら農地集積を進め、組合員の農地（35ha）の大半を引き受ける意向である。

3 法人化までの経緯と普及の取組

- (1) 平成25年に們地区で人・農地プラン作成のための話し合いが行われ、中心となる農業者から、地区の農地を守るために組織を作ることが提案され、平成27年に任意組合の「們集落営農組合」が設立された。
- (2) 令和元年6月に、任意組合では農地の貸借や販売面などで制約が多いため法人化したいとの相談があり、7月に埼玉県農業経営相談所の重点指導農業者となった。
- (3) 組合役員の間で法人化の合意形成を図るため、税理士による相談会を2回行い、令和2年3月には構成員全員を集めた相談会を開催し、法人化に向け合意を得た。
- (4) 定款・規約作成、法人化の手続きなどについて国の補助事業を活用し、相談会を3回行うなどした結果、令和3年2月に設立総会が開催され、同年3月に法人が設立された。

4 法人化のポイント

- (1) 全ての組合員に地域の農地は自分たちで守らなければならないという、共通認識があったこと。
- (2) 組合員どうしの話し合いや、埼玉県農業経営相談所の専門家派遣による相談会を重ね、法人化に向けた合意形成を丁寧に行ったこと。

普及指導の仕事

彩の国 埼玉県



詳しくは・・・

🔍 埼玉県 普及活動の成果

令和3年度

普及活動の成果



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」



試験研究の仕事



農業技術研究センター



茶業研究所

試験研究の仕事

環境安全担当

農作物の安定生産と高品質化を図るため、土壌環境の改善や効率的な施肥に関する技術を開発しています。また、農作物の安全性確保や環境負荷を軽減するための研究を行っています。

- ◆農耕地土壌の実態把握および管理技術の開発
- ◆生理障害の要因解析および対策技術の開発
- ◆新肥料・資材の利活用に関する技術の開発
- ◆農作物の安全性確保に関する研究
- ◆農薬残留対策・河川中農薬モニタリング調査



農耕地の土壌調査



生産現場で問題となっている生理障害への対応
(発症要因の解明と対策技術の確立に関する研究)



河川中農薬モニタリング調査

試験研究の仕事

病害虫研究担当

問題となっている病害虫の発生生態を解明し、いち早く防除するための技術を開発しています。また、環境に配慮した総合的な病害虫管理技術や調査手法の開発などの研究を行っています。

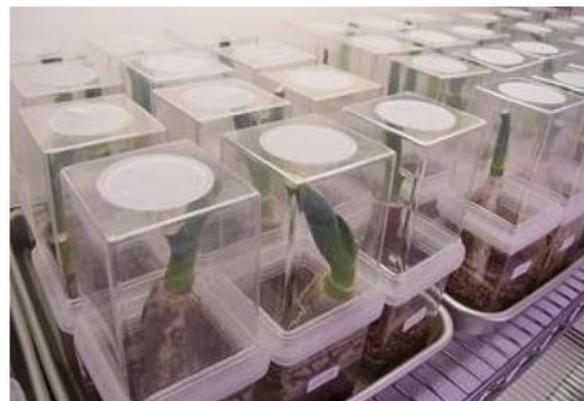
- ◆新病害虫・難防除病害虫の防除技術の開発
- ◆総合的病害虫管理（IPM）技術の研究
- ◆病害虫診断技術・調査技術の開発
- ◆新農薬・資材の効果判定
- ◆病害虫診断および防除指導



新害虫ネギネクロバネキノコバエによるネギの被害



現地での防除効果試験



被害発生確認試験

試験研究の仕事

鳥獣害防除担当

鳥獣による農作物被害を防ぐため、県内で問題となっている野生動物の生態を調査・解析し、農地への侵入防止対策や、個体数管理などの技術開発を行っています。また、開発した技術を速やかに現地へ普及するための研修会などを実施しています。

- ◆野生動物モニタリング調査
- ◆野生鳥獣による被害防止技術に関する研究
- ◆野生動物管理に関する研究
- ◆被害防止のための啓発・指導



アライグマの捕食行動を利用した
専用捕獲器「ラクーンキューブ」の開発



中型動物とイノシシに対応した侵入防止柵
「楽落くん」

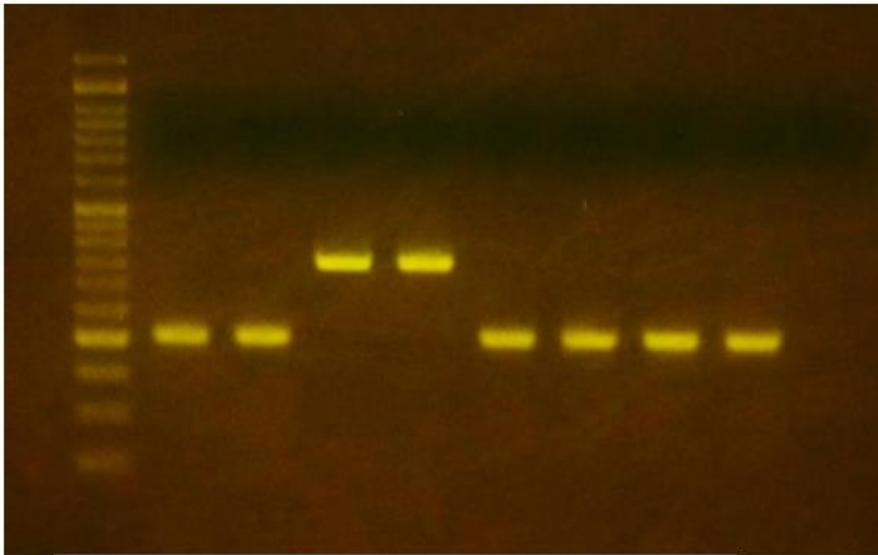


電気柵の設置実習

遺伝子情報活用担当

遺伝子マーカーを活用した水稻新品種育成や特性解析、病害虫診断技術の開発、および農作物の機能性解析等を行っています。

- ◆DNAマーカーを活用した水稻・イチゴの県オリジナル品種の開発
- ◆遺伝子情報を活用した技術の開発
- ◆野菜の機能性成分の解析



DNAマーカーによる遺伝子解析



イチゴ病害診断技術の開発

水田高度利用担当

水稲、麦類、大豆の省力、安定、多収生産技術や気候変動に適応できる栽培技術の開発とともに、野菜生産による水田高度利用、ICT、RT を活用したスマート農業の研究を行っています。

- ◆異常気象対応水田作物生産技術の開発
- ◆水稲・麦類の高品質生産技術の開発
- ◆水稲・麦類の低コスト生産技術の開発
- ◆水稲と野菜等との高収益輪作技術の開発
- ◆水稲関係植物調節剤の適応性検討



ドローンによる水稲の生育診断



高速高精度播種機による乾田直播試験



六条大麦の高品質栽培試験

試験研究の仕事

水稲育種担当

本県の気候や土壤に適し、病虫害や気候変動に強く、良質・良食味な水稲品種の育成や原原種の維持、供給等を行っています。

- ◆水稲新品種の開発
- ◆水稲・麦類・大豆の系統維持・増殖
- ◆水稲奨励品種決定調査



暑さに負けない県新品種「彩のきずな」



水稲の系統・品種栽培



水稲の高温耐性比較試験

野菜育種担当

大きくて、おいしく、病害虫に強く、日持ちのよいイチゴ新品種の開発や特産野菜であるサトイモ優良系統の維持、新しい園芸品目の探索等を行っています。

- ◆イチゴの県オリジナル品種の開発
- ◆園芸新品目の探索と特性調査
- ◆園芸新品目の選定とブランド開発
- ◆優良遺伝資源の維持・管理



サトイモの系統保存



イチゴの県オリジナル品種の開発

試験研究の仕事

酪農担当、養豚・養鶏担当

牛、豚、鶏の飼養管理方法や繁殖技術の開発とともに、ブランド畜産物であるタマシャモや彩の国黒豚の供給と改良等を行っています。

- ◆牛、豚、鶏の遺伝資源維持および飼養管理技術の研究
- ◆高度繁殖技術の開発ならびに家畜の改良
- ◆自給飼料の生産技術開発および優良系統選定
- ◆家畜の糞尿処理・臭気対策技術の研究
- ◆「彩の国地鶏タマシャモ」の供給と原種鶏の改良



乳牛の精密飼養試験



埼玉県が作出したタマシャモ原種鶏



英国産黒豚を用いた県内黒豚の改良

高収益畑作担当

県特産野菜のサトイモ等収益性の高い露地野菜の生産技術や気候変動に適応できる栽培技術の開発とともに、省力化のための機械化技術の研究を行っています。

- ◆ 露地野菜の高品質・安定生産技術の開発
- ◆ 露地野菜の機械化技術の研究
- ◆ 雑穀類の遺伝資源の保存



タマネギの新作型の開発



サトイモの栽培試験



サトイモの品質・収量向上のための適正灌水技術の開発

試験研究の仕事

施設園芸先端技術担当

ICTやAIを活用し、作物生体情報に基づく統合環境制御技術による施設野菜の省力・多収生産技術の開発や商品性を高める花き生産技術の開発等を行っています。

- ◆施設果菜・花きの高品質安定生産技術の開発
- ◆ICT（情報通信技術）やセンシング技術を活用した生産技術の開発
- ◆夏を彩る花き生産技術の開発
- ◆園芸作物新品種の特性調査



キュウリの生育予測による多収生産技術の開発



センサーを活用した高品質トマト生産研究



鉢花（カラコエ等）の品質向上技術の開発



夏を彩る花壇の品目選定と夏季に開花させる技術の確立

果樹担当

ナシ、ブドウの省力・軽労化や高品質化生産技術の開発とともに、諸障害回避技術の開発等を行っています。

- ◆果樹の授粉用花粉採取技術の開発
- ◆ナシ「彩玉」の効果的な短期貯蔵技術の開発
- ◆ブドウの高品質安定生産技術の開発
- ◆果樹新品種の特性調査



低樹高ジョイント仕立てによる花粉採取作業の軽労化



根圏制御栽培等による「シャインマスカット」の高品質化



県が育成したみずみずしい甘さのジャンボ梨「彩玉」

次世代技術実証普及担当

統合環境制御システムを導入したトマトの高品質栽培技術の実証と、セミナー開催等による生産農家への技術普及を行っています。

- ◆高軒高土耕ハウスにおけるトマトの長期多段(年一作)栽培の実証研究
- ◆トマト低段密植栽培（次世代施設園芸埼玉拠点）の調査研究



土耕ハウスにおける長期多段栽培の実証



次世代施設園芸埼玉拠点とトマト低段密植栽培

いちごのシーズン到来！～埼玉のいちごを楽しもう～

埼玉県の一ちご生産状況（令和3年）

産出額　： 32億円（全国13位）

栽培面積　： 96ha（全国17位）

（農林水産省 農業所得統計 第1報/野菜生産出荷統計）



～埼玉県のいちご月別市場出荷量～



～県育成品種の栽培面積～

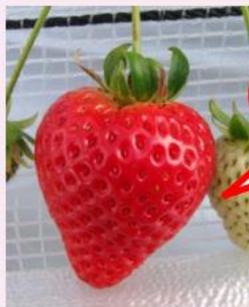


※11月時点

県農業技術研究センターで育成したオリジナル品種

あまりん

(平成31年品種登録)



甘さ推し!

栽培面積11.1ha
(前年比161%)

※11月時点

際立つ甘さと深みのある味わい。
人気上昇で面積も拡大中。

買える場所

観光農園、直売所、スーパー、
フルーツ専門店、洋菓子店 等

かおりん

(平成31年品種登録)



香り推し!

栽培面積0.6ha
(前年比135%)

※11月時点

酸味と甘味が高く香りが豊か。
栽培地域が少ない希少品種。

買える場所

観光農園、直売所 等

新品種 べにたま

(令和3年出願公表中)



バランス
推し!

栽培面積1.1ha
(前年比314%)

※11月時点

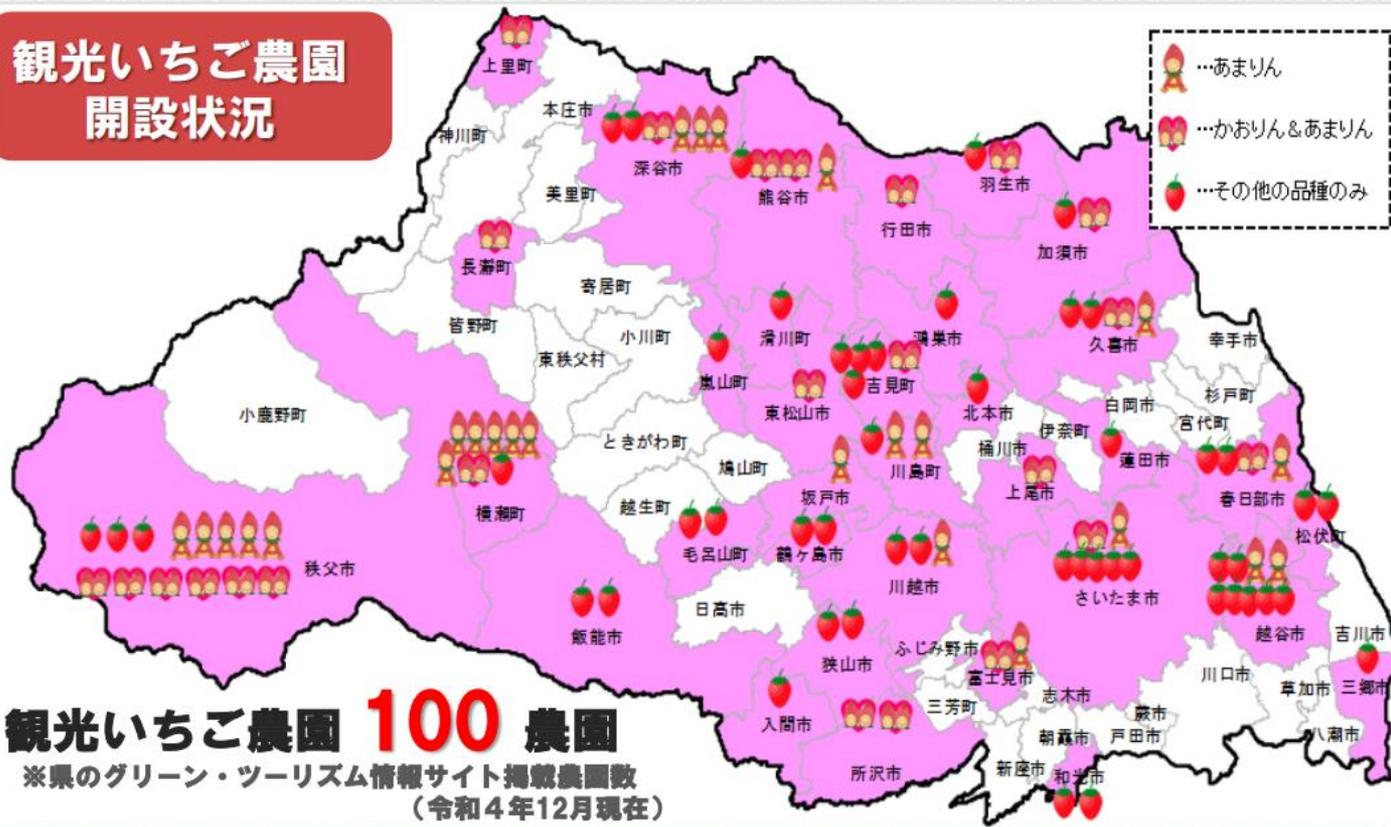
甘くて酸味は控えめ。
傷みにくく輸送に適している。

買える場所

県内の一部スーパー 等

今が旬！いちご狩りに出かけよう！

観光いちご農園 開設状況



こんな農園も！

- 🍓 **小さいお子さんでも収穫しやすい高さの高設栽培**
- 🍓 **通路もゆったり、バリアフリーの農園**
- 🍓 **パパ・ママ応援ショップ協賛農園**



県内の観光いちご農園は、県のグリーン・ツーリズム情報サイトで！

いちご狩り グリツリ **検索**

今が旬！いちごの購入・お取り寄せ情報

埼玉農産物ポータルサイト 「SAITAMAわっしょい！」

埼玉県内の観光いちご農園や県オリジナル品種のいちごを購入できるお店、WEBなどでお取り寄せできる農園の情報や旬の情報などを紹介！



買うならぜひ
埼玉生まれのいちごを！

～埼玉いちごの魅力を満喫する豆蔻の時間～



ただかね農園(秩父市)

萬の屋(毛呂山町)



かおりのジェラート
(パニノチカ ベリカーノ)



コラーゲン入り糖質プリン
フレッシュフルーツゼラ
(麗王飯店)

SAITAMAわっしょい

検索

「べにたま」 ロゴデザインを募集！



埼玉オリジナルいちご新品種

「べにたま」
ロゴデザインを募集！

「美しいいちごの色(紅)」
「丸い果実のイメージ(玉)」
の特徴に合ったデザインを！

- 募集期間 令和5年1月31日(火)まで
- 結果発表 令和5年2月下旬～3月上旬
- 賞金 30,000円(最優秀賞受賞者1名)

べにたまロゴデザイン

検索

農業で埼玉を元気に！



ご清聴ありがとうございました。

